

---

# 十代にもし双子の弟がいたら...IF 罪を背負う者とシグナー達

天空 翼

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

十代にもし双子の弟がいたら…IF 罪を背負う者とシグナー達

### 【Nコード】

N7309Z

### 【作者名】

天空 翼

### 【あらすじ】

ネオ童実野シティに迫る危機…狙われる遊星…謎の敵………そんなとき、シティにある人間が降り立つ…。罪の十字架を背負う赤い帽子の彼はシグナー達と出会い、何を学ぶのか…

『遊戯王GX 十代にもし双子の弟がいたら…』のIFです。ネタバレあるかもですので注意！

プロローグ それが始まりだった…

「来たか…」

「うん、久しぶりだなここに来るの…」

巨大なビルの最上階、その一室に赤い帽子の青年と黒いスーツの青年が立っていた。

「そんなに硬くなるなよ、お前の兄貴にはいつも世話になってんだから。」

「え？硬くなつてたかな？」

「なつてた、なつてた。さて、今回お前に頼みたい仕事つてのはこの人間をマークしておくことだ。」

スーツの青年が取り出した資料を手に取る帽子の青年。

「この人は…」

「不動遊星。現、ライディングデュエルキング疾走決闘王者でありリアルフェアリー精霊実態能力者の能力を持つ可能性のある人物だ。『ヤツラ』の残党で集めた『あの組織』は知ってるな？」

「ああ。」

帽子の青年は悲しそうな顔をしながら帽子を深く被り直す。

「『あの組織』も彼を付けねらっている。そんなわけで！シテイの一角のビルに家用意しといたから頑張ってくれ！」

「護衛と監視か…俺が何者かはバレちゃいけないんだよね。なら、デッキも変えたほうがいいか…」

「ああ。これがお前のデッキな」

デッキを受け取った帽子の青年は部屋から出て行く。

「まったく、お兄さんよお…弟が頑張ってるのにいったいどこで何をやっているんでしょーね？」

残ったスーツの青年の呟きは誰にも聞かれることなく消えた…

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7309z/>

---

十代にもし双子の弟がいたら...IF 罪を背負う者とシグナー達

2011年12月24日08時49分発行